

すぎのこ

144

公益財団法人 すぎのこ芸術文化振興会

2016 10/1

事務局：〒171-0022 東京都豊島区南池袋4-19-6 TEL.03-3984-2396 FAX.03-3984-2264
新館研修センター：〒357-0063 埼玉県飯塚市飯塚325-2 TEL.042-971-4121 FAX.042-971-4155
滝沢研修センター：〒377-1611 群馬県吾妻郡滝沢村千原 TEL.0279-96-1015 FAX.0279-96-1015

2面・3面 制作だより／園からの声／アンパンマンミュージアム20周年記念公演 ほか
4面 事務局だより／日本芸術文化振興会助成事業報告 ほか

http://www.suginoko.org/
E-mail: support@suginoko.org

巡回公演だより

そっくりのくりのき班

榎本均

東北の旅公演も一ヶ月経ちました。私が東北の旅公演をするのは、2011年東日本大震災の前年以來、6年ぶり。「ああ、東北か」初日は福島からでした。

前夜はなかなか寝られず、早朝、散歩する。山の中の宿で、周りは田んぼと果樹園が広がっている。すると曲がり角から、ひよこつと犬を連れおじいさんが現れた。



今回の「そっくりのくりのき」は、私は少しプランクがあつての復帰。相手方とも初共演、猛暑の夏のセミの声は過ぎ行き、はや秋の鈴虫の音へ。今は今、ひとつひとつの出会いの中で人形劇をやらせていただいていることを忘れないように、大きなつなかりは細々なことに宿ることも忘れないように。やなせたかしさんがつくった、おはなし「そっくりのくりのき」は、子

街の中だったらやり過ぎたであろうが、誰もいない農道、気まずい感じ。私の「おはようございませす」のなげやいなあいつより早く、「おう」とか「やあ」といったような片手を上げてくれた、その格好、しぐさは旧知の友人のように、朝露のさわやかな空気が交じって飄々として、名優が演じる映画のワンシーンのよう。後に思うに、仙人かあるいは「奥の細道」の芭蕉の姿にも思えた。初日のその日は、公演の準備のあいさつも、東北弁ままりのニュース。東北生まれの私は足元、浮々。気持ち、小躍り。先生方全員で、荷物運びも会場整備もご協力いただきました。園長先生の話しぶりは、山形のおふくろとそっくり。「ああ、東北か」。

ども達の元気な笑顔こそが愛と希望にそっくりだということ、いや真実だということ。やなせ先生はあの時、被災地へアンパンマンのように飛んでかけつけた。「ああ、東北か」「うんだ、がんばるべえ」

おだんごばん班

菅谷 香純

おだんごばん班は一学期に北海道を回りました。児童館や図書館での公演も多いのですが、ある図書館での公演後、親子に話しかけられました。

お子さんは既に他の保育園で「おだんごばん」を観ていたのですが、この図書館でやると聞いて「また観たい」とお母さんと一緒に来てくれました。保育園では楽しく観ていたのですが、恥ずかしくて手遊びができなかったようで、それが心残りだったそうです。今回は控えながらも、一緒に手遊びをしてくれました。これを聞いてとてもうれしかった。



たのですが、なによりもこうやって一緒に来て、私にも話しかけてくれ、うれしそうにお子さんの話をしてくれるお母さんがいる、そうした親子の関係に心が温まりました。

ふだんの上演でも、最初は恥ずかしさもあるのかあまり手遊びをやってくれなかった子が、劇の途中から皆と一緒に楽しくやってくれたりすると、なんだかうれしくなります。もちろん、手遊びを強要するわけはありませんが、子ども達が楽しんでくれるキッカケであつたらと思います。

わらしべ長者班

長谷川 唯

「よこんなちっけな畑だけれど、いつかであっかい土地にして…」食べるものもないほどの貧しい状況下においても、毎日を懸命に前向きに生きる正吉。そんな正吉の姿に御先祖様が手を差



し伸べます。題名の通り、わらしべ一本から長者に至るまでの過程を描いたシンプルなお話です。長者になるという結末に向けて、正吉がどのような人々と関わっていくのかが見所の一つです。困っている人がいたら当たり前のようには助ける正吉の思いやりや、いい人ばかりではないけれど、出会う人達の温かさといった心情を核に物語が進められていきます。そのため、正吉の人柄や生活背景を浮き彫りにする必要があり、日常的な動作の繰り返しは淡々と続いていて、お話の多くが会話で成り立っています。聞いた事より視覚情報を頼りにしている部分が多い子どもにとっては、途中で飽きてしまう要因でもあり、理解も難しい内容だと感じていきます。しかし、子ども達の思わぬ反応にうれしくなることがあります。

それは、物語の中で物々交換を行う都度、違う物に変わったことを正吉が歌う場面で、序盤は沈黙の中にいた子ども達が終盤にさしかかると、手拍子をし始めるのです。先生方ではなく子ども達発信の手拍子です。これが一番大切なことであり、私達が人形劇をナマで届ける意味だと思っています。内容をさちんと把握することは難しくても、話し方や人形の何気ない動作といった雰囲気から伝わるものもあります。

私自身、人形の動きはまだまだまだ未熟で、見たものを見たままに反応する子どもの素直な感覚が、よりリアルな動きに近づいたための参考になっています。視覚からの刺激が大きい子ども達だからこそ細かな動きを投げやりにせず、見るだけで伝わるような人形の動きを追求していかなければいけないと、子ども達の反応から学ばせてもらいました。

正吉を見守り続け、優しさを知っていたからこそ、きっかけさえ

制作をよ

8月の終わりごろから、秋の巡回公演が始まりました。東北・九



関東を台風が直撃した日でした。しかしうれしいことに、横殴りのかなり激しい雨の中、お子様連れで来てくだ

あれば自ずと道を切り開いていくことを御先祖様は見通していたのかもしれない。自分より相手のことを気遣う和の心。善因善果考えれば考えるほど、様々なメッセージが込められている深い作品であることを感じさせてくれます。

ももたろう 班

野見山 大輔

メンバーがインターネットで調べて、昔ながらのきびだんごを作ってきた。日本昔話に出てくるなじみ深い食べ物なのに、今まで食べたことがなかったなんて、ちょっと不思議だ。

きびはひえやあわと共に米の代用穀物だったが、甘い菓子の乏しい当時においては、きつとごちそうだったのだろう。味そのものとしては特に旨いものでもないが、それでも、素朴で親しみやすい味わいに感じた。

州・中国・関東地方に四つの作品が巡回に出て、もう一ヶ月が過ぎました。

旅立ち前の8月22日、飯能研修センターで恒例の公開稽古を行いました。いつもたくさんのお客様でにぎわうのですが、今回はあいにくの雨。

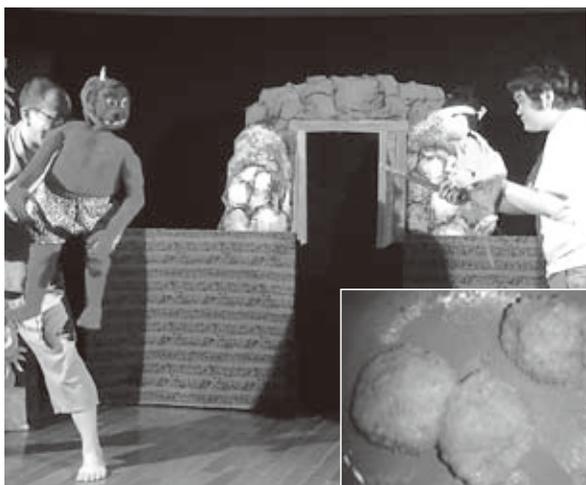
こんなちよつとした体験でも、おばあさんがどんな思いで作ったか、ももたろうがどれだけ元気づけられたか、味覚を通じてイメージが広がる。芝居創造って、面白い。

ももたろう班は中国地方を回っているの、本場岡山では桃太郎なじみの地を訪れるかもしれない。そうしたらまた、イメージが広がることだろう。

さつたお母さま方がいらっしやいました。

「くりのきさんも、こんちゃんもおもいやりがあつてよかった」「そつくりのくりのき」「馬がかつこよかった」「しょうきちが、みんなをたすけてあげてやさしいなあ」「わらしべ長者」「鬼退治に行つたところが勇気があるなあ」「それぞれの登場人物の心情がわかりやすく物語になっていて新鮮だった」(ももたろう)「おだんごばん小さいけどとても強い」(おだんごばん)と親子それぞれのご感想もいただきました。

近くの入間川が氾濫警戒レベルまで増水したりして、家に帰るのがたいへんだつた劇団員もいまし



ももたろうのき

■立正保育園(新潟県燕市)

今までは1、2歳児は途中で退出することが多かったのですが、どの学年も興味深く観ていられたことに驚きました。1歳3か月の子がバギーの中で、身を乗り出して手をばちばちしていました。きつねのこんちゃんがでてきたら、指さして「アー、アー」と大喜びしていました。

どの年齢の子にもわかりやすいというところは、どの子にも、心にしみる何か大きな魅力があつたのでは...と思います。

■北本町保育園(新潟県上越市)

出演者の衣装が舞台の背景の色と合わせてあり、人形を動かしながらも人間の動きが邪魔になつていませんでした。また、嵐が来た場面では、風の動きを赤ちゃん達が目で追つたりして、どの年齢の子も楽しめたようでした。

■本宮のもり幼稚園(石川県七尾市)

明るく丁寧な挨拶や対応で、最後まで快い気分でもごせました。はつきりとした口調と惹きつける演技で、楽しく観劇させていただきました。命のつながりを子ども達がどのくらい理解できたかはさておき、今後も伝えていきたい大切なテーマを見せていただけたと感動しました。

おだんごばん

■潮見保育園(北海道網走市)

今回の作品は、二つとも年齢の低い子ども達にもわかりやすく、おもしろい内容で、とても楽しく



▲新潟県長岡市長生保育園より

観させていただきました。舞台も、子ども達から歓声があがるほどできて、場面転換のスムーズさもすごいなと思いました。

人形と一緒に演者の方が全身を出していても、まったく気にならずにお話の世界に子ども達が入り込んでいたのが見事でした。

■歌登保育所(北海道枝幸郡枝幸町)

始めの紙芝居もわかりやすく楽しめました。「おだんごばん」も始めに手遊びの指導がしつかりされていたので、覚えて一緒に行うことができたのがよかったです。きつねは、予想外の服装で楽しく、おだんごばんがかわいかったです。

■釧路市東部子育て支援拠点センター(北海道釧路市)

子育て支援施設(未就園児の親子が対象)なので、時間的にも内容的にも、どこまで集中して楽しんでもらえるか不安な面もありました。でも親子共にじっくりと参加し楽しんでる様子がかがえて、「子ども達がこんなに最後まで見ていられるとは思わなかった」「こんなに覚えていられたのは、初めて」とお母さん方が喜んでくれました。

わらしべ長者

■ひまわり広場(静岡県伊豆の国市)

人形の動きがリアルです。こつた。人形がとても自然な動きで、楽しい、悲しいをよく表現してい

た。話の中に笑えるところがあつて、温かい気持ちになつた。

■こむぎ保育園(東京都小金井市) 昨年とは180度違った古典的人形劇で、とても感動しました。

ご先祖様を大事にすること、人のために尽くすこと、それをひけらかさないこと、まじめに働くこと。まさに日本人の心を見る思いでした。

今のテレビやDVDでは得られないゆつたりとしたテンポで、中には持て余し気味の子もいましたが、それもいいです。保護者の方を含め、心のどこかにきつと残ってくれていることでしょう。

ももたろう

■立野川内保育園(佐賀県武雄市)

「ももたろう」は子ども達になじみのあるお話なので、歌のところでは手拍子をしたり、おもしろい場面では笑つたりと、楽しんで観ていました。鬼が出てきた時は逃げてしまふ子もいましたが、それもまたおもしろかったです。お猿さんの動きも素晴らしかったです。

家に帰ってから「楽しかったよ」と話したり、次の日登園してきて「楽しかったね」と話す子ども達の声がかれました。

■ルンビニ保育園(佐賀県壱岐市)

楽しい「ももたろう」の人形劇を見せていただけて、ありがたう

だが、本番の公演に向け、子ども達やご家族の方の生の声が聞けたことは、俳優達にも私達制作担当にも励みになりました。ありがとうございました。

今日も上演班との電話や、公演先からのアンケートで巡回公演の様子を知り、「よかった」「よくなかった」と一喜一憂しています。天気予報を見て台風が来たり、大

アンパンマンミュージアム 20周年記念公演

高知県香美市にある「香美市立やなせたかし記念館・アンパンマンミュージアム」は、今年で20周年を迎えました。そこで今回、やなせたかし先生と長年交流のある我々すぎのこに、「そっくりのくりのき」の公演依頼をいただきました。この作品は生前、やなせ先生ご自身から提供していただいたもので、音楽は先生のご友人のボニー・ジャックスの西脇久夫氏が手掛け、先生にとってもすぎのこにとっても思い入れの深い作品です。

当日は天候にも恵まれ3ステージとも盛況で、歌に合わせて自然と手拍子が起こったり、終了と同時に盛大なる拍手をいただいたり、途中お昼を食べに抜ける子ども達もいましたが、一番前で最後までじっと観ている子ども達もいたり、毎回違う反応に感心させられました。

アンパンマンミュージアムは至る所にアンパンマンのキャラクター像があったり、巨大なばいきんまんのロボット「だだんだん」がいたり、アンパンマンの歴史が学べるコーナーや、やなせ先生直筆の原稿、アンパンマンを題材にした絵画など多数展示してあって、大人も子どもも本当に楽しめる施設です。お近くにお出かけの際は、是非立ち寄りみてくださ

い。
(白石 高章)



雨が降ったりすると、心配で気をもんでいます。

どんなときも、すぎのこの人形劇を「観たい」、子ども達に「見せたい」、と思っていただけ限り、「観てよかった」と思っていただけの作品・環境づくりを懸命にしていきたいと思えます。

(榎本 千里)

いいだ 人形劇フェスタ



時又ふれあいセンター提供

8月、長野県飯田市の人形劇フェスタに、今年も参加させていただきました。今年「わらしべ長者」の上演での参加でした。

飯田のフェスタは、国内で、他の人形劇フェスタと比べても最大になります。世界的にみてもこれだけの期間で、何百公演も観られるのは、稀だと聞きました。期間中、市内で連日(あれだけ広い範囲で)なにかしらの人形劇、またはパフォーマンスをやっている…凄いいことです。

ぜひ一度は飯田の人形劇を観ていただきたいものです。興味を持たれた方は、飯田のフェスタの空気を感ずるだけでも、その価値はあるかと思えます。(太田 正人)

人形劇講習会

8月8日(月) 福井県福井市の緑ヶ丘保育園において、人形劇講習会を行いました。園の先生方と一緒に片手で使える人形を製作し、動かし方のコツなどを紹介しながら、楽しい時間を過ごすことができました。

先生方の創造力はすばらしく、自分達の作りたい人形、例えば「犬」「鬼」「サル」など、それぞれ担当を決め製作にあたり、「こ

賛助会員を募集しています!



ございました。鬼が出てくる場面では子どもがこわがって泣かないかな…と心配し、どう表現されるのかな…と見えていました。すると人形は大きくリアルに作ってありましたが、動作や表情が工夫されており、子ども達はこわが

ることなく楽しんで、笑顔で見ることができました。「おもしろかったー!」と言っていました。心に残る人形劇となったようです。

■筑水幼稚園・つぼみ園(佐賀県三養基郡みやき町)
1〜6歳まで年齢差があるので

すが、今回はみんなのお話の中に引き込まれていたのがよく伝わりました。

途中、「ももたろうさん」の歌が入ったところでは、みんなで大合唱したり…。楽しい時間をありがとうございました。

賛助会は、すぎのこの理念・目的に賛同する個人や団体の方々に、当財団の活動を側面から支援していただくものです。入会された方には、会員証と共に入会の証としてアンパンマンでおなじみのやなせたかし先生がデザインした、すぎのこ「すくすく」バッジ(写真)をお贈りいたします。

1. 賛助会に関する基本事項に関しては、定款第45条によるものとする。
2. 賛助会は、当法人の目的に賛同し、事業や業務を支援する個人・団体賛助会員からなりその内容は次のとおりとする。
 - (1) 賛助会費を納める「会費制賛助会員」

個人	年額	3,000円	以上
団体	年額	10,000円	以上
 - (2) 知識、技能、労力を提供する「技能制賛助会員」

個人	年間	3日間以上
団体	年間	5日間以上
3. 賛助会員になろうとする者は、申し込み用紙に必要事項記入のうえ、会費(技能提供予定書)を添えて当法人事務局に提出し理事長の承認を受けなければならない。
4. 納入された会費は管理運営費並びに賛助会運営費に使用する。
5. 賛助会員が退会しようとする場合、所定の退会届に必要事項記入のうえ、当法人事務局に届ける。
6. 会費制賛助会員が一年以上会費を滞納した場合、技能制賛助会員が一年以上知識、技能、労力の提供がなかった場合は、自然退会として扱う。
7. 理事長は、賛助会員の当法人への理解や支援、賛助会員同志の意志の疎通や親睦を図るため、会員の中から若干名の世話人を選び、世話人の中から代表世話人を選任し世話人会を設置する事が出来る。
8. 世話人会が設置された場合、世話人は代表世話人の下に、前4項の目的を達成するための事業や業務を、理事長の指導のもとに企画し実施する事が出来る。
9. 賛助会員は、この法人が刊行する図書及出版物等の優先的配布、その他この法人の行う行事に関して優先的な取り扱いを受ける事が出来る。
10. 賛助会員が、会員として相応しくない行為があると認められる時は、世話人会及び理事会の、各々3分の2以上の議決により除名する事が出来る。
11. 前項の理由により除名する場合、理事長は、予め本人からの文書または口頭での意思表示を求め、理事会において最終判断をする。
12. 納入された会費及び提供された技能はいかなる理由があろうとも返還はしない。
13. この賛助会規程を改廃しようとする場合、理事会の議決を経なければならない。

ういうの苦手なんです」と言いながらも自分のイメージしたものや、丁寧な形にしていきました。さすが毎日子ども達との独創性あふれる日々に対応しているだけあるなあ

と感服。できあがった人形のクオリティの高さには、思わず感嘆の声をあげてしまいました。

自分達で作った人形、自分達で作上げる舞台、手が込んでいるほど愛着は出てくるもの。何より大切なのは、「子ども達に見せた

い」「もつといいものを」という思い、そして「自分が楽しむ」ということ。先生方を通して、自分人形劇への姿勢を改めて振り返るいい機会を得ることができました。

(吉田 薫)

事務局 だより

52

「すぎのこ」 利用報告

「すぎのこ 婦恋研修センター」は

今夏、ボーイスカウト豊高4団、群馬大学 Fore Bridge Orchestra、その他、ご家族連れなど、大勢の方々にご利用いただきました。この場をお借りしてお礼申し上げます。



上下とも、ボーイスカウト豊島4団

研修センターの ご案内

当財団には、群馬県に日本小型自動車振興会(現財団法人JKA)の補助により建設された「すぎのこ山荘」と、日本宝くじ協会の助成により整備された「わんぱく村」からなる「すぎのこ 婦恋研修センター」。埼玉県に日本宝くじ協会の助成により建設された「すぎのこ 飯能研修センター(ドリーム館)」があります。

いずれの施設も緑ゆたかな自然に恵まれ、大変静かな環境に立地し、音楽や演劇等の芸術文化活動や公益活動にお貸ししています。

合宿や研修等で会場をお探しの方は、ぜひご検討ください。(利用目的は原則自由ですが、冠婚葬祭やそれに類する事、営利目的の活動には使用できません)

婦恋村にある「すぎのこ 婦恋研修センター」近くには、海拔1240m、周囲2kmに及ぶバラキ湖

期北陸地方、2学期東北地方、3学期東海・近畿地方
平成31年度 1学期甲信越地方、2学期関東地方・沖縄、3学期関東地方

(下村 明)



芸術文化振興基金
助成事業

独立行政法人 日本芸術文化 振興会助成事業

「ももたろう」 助成金交付に関して

最新作「ももたろう」の作品は、独立行政法人日本芸術文化振興会「平成28年度芸術文化振興基金」の助成対象事業として、1学期九州地方を94公演行い、2学期は中国地方で公演を行っております。ふだんはおうかがいできない地域や小規模施設も回っておりますので、是非この機会にすぎのこ人形劇の「ナマの舞台の感動」を子ども達に体験させてあげてください。皆様からのお問い合わせをお待ちしております。

「ももたろう」巡回 予定一覧

平成28年度 2学期中国地方、3学期四国地方
平成29年度 1学期北海道、2学期九州地方、3学期関東地方
平成30年度 1学期



婦恋研修センター



飯能研修センター



をはじめ、近隣に日帰り温泉施設「湖畔の湯」やバラキ高原婦恋スキー場等が点在し、年間を通じてレジャーや野外活動の拠点としてご利用いただける他、敷地内にはテントサイト(シャワー室・トイレ完備の専用洗面棟併設)や雨天でもバーベキューが楽しめる集会棟、アスレチック広場等が整備され、日本キャンパ協会の優良キャンプ場として認定されています。

また、135㎡の多目的フロアの他、和洋研修室を完備しており、研修会や芸術文化活動に広くご利用いただける施設です。また、周辺には飯能の観光スポットとして有名な「天覧山」や「飯能河原」等も徒歩圏内にありますので、利用がてら、ぜひ散策してみてください。

各施設の利用可能な期間や時間等、詳細につきましてはお問い合わせください。

合わせ

E-mail/support@suginoko.org

または03-69684-23

96(事務局)

飯能研修センターに関するお問い合わせ

E-mail/info@suginoko.org

または042-971-41

21(創造部)

劇団研究生を募集 しています

すぎのこでは、子ども達にナマの舞台の感動を届ける仲間(劇団研究生・人形劇俳優)を募集しています。全国の幼稚園・保育園や各種イベント会場・劇場などで人形劇の公演活動を通じ、たくさん笑顔に出会えることがこの仕事の魅力です。巡回公演が中心ですので、長期間の出張が可能な方、子ども好き、旅好きの方で興味を持たれた方はぜひ、私達の活動に参加してみませんか。尚、未経験の方は研修・指導を行います。活動内容や条件等、詳しくは左記へ連絡ください。

E-mail/support@suginoko.org

または03-33984-2396(事務局)



活動記録(平成28年7月~9月)

- 8/5 いいだ人形劇フェスタ参加 於・長野県飯田市時又ふれあいセンター
- 8/8 人形劇講習会開催 於・緑ヶ丘保育園(福井県福井市)
- 8/10 第一学期全国巡回公演終了
- 8/22 創造部公開クエプロ 於・飯能研修センター
- 8/24 第二学期全国巡回公演開始